

さぽせんニューズレター

2016 年
Vol.50



CONTENTS

- P.2～3・・・もっと知りたいサポセンのこと！@2016 年 4～9 月
- P.4・・・さぽせんニューズレター 50 号記念！
- P.5・・・利用者アンケート／利用者懇談会
- P.6・・・《連載》NPO の運営アレコレ「NPO 法人会計基準について」
市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会
- P.7・・・ちがさきサポセン☆ワイワイまつり予告、《連載》さぽちゃんが行く！
- P.8・・・ちがさき市民活動サポートセンターからのお知らせ

もっと知りたい！サポセンのこと

『市民活動応援プログラム』～実施報告～

2016 年 4 月～9 月

2016 NPO 講座 人がつながり、支援し合う

～クラウドファンディングで活動資金を集めよう！～



日 時：9/10(土)13:30～15:30
場 所：ちがさき市民活動
サポートセンター
参加者：39 名
講 師：宮本 聡さん
(一般財団法人ジャパングビング
理事兼事務局長)

家族や友人、まずは身近な人に応援してもらうこと

社会貢献について、何かの形で関わりたい、また応援したいと思っている人たちに寄付してもらうには、自分たちの思いを心に響くものにしなければならないことが特に重要です。そして、見ず知らずの人から応援を集めるには、まず自分の直接の友人・知人からの応援が集まっていることが第一条件となります。知り合いに対してしっかり PR し、寄付だけではなく拡散のお願いもすること、寄付してもらったらすぐにお礼をすること、こまめに報告すること、繰り返しお願いすることも効果的です。

満足度 80%以上が約 9 割

参加者は、若者からシニアまで多岐にわたり、男女比率も約半々、団体として活動している人が 8 割でした。満足度 100%と回答した人も約 3 割で、大変分かりやすい内容であったことが伺えます。「実態を知る良い機会になった」「ファン・応援者を増やすために自分たちの魅力を掘り下げたい」「さっそく始めたい」等の意見も寄せられました。



インターネットを通じて、人々から資金を募る

NPO や市民活動団体が継続的に活動していくためには一定の資金が必要となってきます。その資金源としては、会費、寄附金、補助金・助成金、事業収入、受託収入などが挙げられますが、その調達にはどの団体も苦労しています。そのような中、近年、クラウドファンディングを活用した資金調達が注目を集めています。今回は「クラウド(たくさんの人)+ファンディング(資金を集める)」について、日本最大の寄付サイト「ジャパングビング」の宮本聡さんに資金調達を行う上での手順や仕組み、どのようにしたら支援者の共感を得られるかなどについて、専門家の立場から分かりやすく解説していただきました。

「第 13 回かながわイーパーツリユース PC 寄贈プログラム」

茅ヶ崎は 3 団体に寄贈が決定！

市民活動団体の情報化や基盤強化を支援するため、企業提供のリユース PC を寄贈するプログラム。認定 NPO 法人イーパーツと県内 10 の NPO 支援センター(藤沢、茅ヶ崎、小田原、大和、座間、平塚、綾瀬、相模原、鎌倉、逗子)の共催で実施しています。厳正な審査の結果 32 団体にノート PC40 台、デスクトップ PC9 台の寄贈が決定。茅ヶ崎からは NPO 法人萩桜会、湘南 SHOW 点、NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワークの 3 団体が計 5 台の寄贈を受けました。



8/27(土)講習会&寄贈式@座間市サニープレイス座間

情報セキュリティすごろく「セキユロく」の後、PC の安全管理対策についての講義がありました。最低限の対策としては、ソフトウェアのアップデート、ウィルス対策ソフトの活用、ファイアウォールの設定をすること。パスワードを使いまわししない、できるだけ長いものに

してメモしておくことも有効です。攻撃する側は、直接行政や大手企業を狙うのではなく、それらの組織とつながっているところ、つまり脆弱な NPO をまず攻撃してくるとのことなので、対策はしっかりしておきましょう。

団体交流企画「アナログファンディング！」では、事前に各団体が作成したポスターを見て、「応援したい、支援したい」と思うプロジェクトに参加者が仮想通貨を投げ銭。32 のプロジェクトから、NPO 法人萩桜会の「地域の子どもたちに食の大切さを！～田植えから草取り収穫、餅つきまで～」が上位 6 団体に選ばれ賞品のプリンターを見事獲得しました！「今まで以上に活発な活動を通じ、地域での顔の見える関係づくり、子どもさんの健全育成に尽力したい」と感想をいただきました。



第 14 回の寄贈式は茅ヶ崎で開催予定

申請期間は 2017 年 4 月 10 日(月)～6 月 30 日(金)の予定です。多くの団体からの申請をお待ちしています。

「ちがさき市民活動ガイドブック 2016」 発行



掲載団体数 352 団体！

多くの市民に市民活動を知っていただくために、登録団体の情報や活動内容を掲載しています。その他、市民活動・NPO の概要、サポセンの利用案内、市の補助金制度・協働事業や地域メディア一覧も掲載。これから何かを始めようとする方や、既に活動されている方にも広く活用されることを願い、作成しています。年々掲載団体も増え、認定 NPO 法人、NPO 法人など法人格を有する団体、任意団体を含めサポセンへの登録団体数は 2016 年 9 月末現在で 356 団体。新規登録および団体情報の変更は随時受付けております。

(最新情報はサポセン HP「市民活動団体情報」をご覧ください)

また、「市内レンタルスペース」2017 年度版も同時発行。団体主催のイベント・講座・展示会等に利用できる 14 ヶ所を紹介しています。サポセン窓口で配布の他、HP でもご覧になれますので、ぜひご活用ください。

「ユースボランティア茅ヶ崎 2016」 7/21～9/15

この夏は ボランティアに チャレンジ！

社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会と NPO 法人 NPO サポートちがさが共催。青少年が夏休み期間を利用してボランティア活動を体験するプログラムです。今年度、期間中の受入団体は 21。毎回人気の保育園や動物病院での体験以外にも、高齢者・障がい児・者などの福祉施設、海辺や里山・田んぼでの環境保全、地元のできる被災地支援、寄付を通じての国内外支援、小学生への学習支援など、それぞれ興味のある活動を選択できるのが魅力です。オリエンテーション時に受入れ団体と面談して決めた日程で、101 名がボランティア活動を体験しました。参加者の割合は中学生 48%、高校生 35%、専門学校生・大学生 17%で、88%が初参加です。

8/23(火)のボランティア交流会「カフェ de ボランティア」には、学生 45 名の参加と受入れ 7 団体も出席。中学生から大学生まで個々の体験をふりかえったのち、互いの感想を共有し活発な意見交換の場を楽しみました。猛暑が続く中、この体験を通じ多忙な現代社会のワカモノが、柔軟な思考と軽やかなフットワークで新たな一歩を踏み出したことを実感できたのでは…と思える夏でした。

▶今からビーチクリーン！
暑さに負けず頑張ります



視察・研修受入／講師派遣

4/12 茅ヶ崎市新採用職員研修(前期)講座 63 名	7/4 文教大学国際学部キャリア形成講座 @文教大学 130 名
6/16 茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティア大学講座 「市民活動分野について」 @さがみ農協ビル 57 名	7/27 セカンドライフセミナー「市民活動について」 @シルバー人材センター 8 名
6/19 神奈川大学経営学部国際経営学科 山岡ゼミ生向け講座 33 名	

～今後の予告～

◆地域の居場所づくり交流会

@茅ヶ崎

10/21(金)13:30～16:30

@茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室 3
参加費：300 円 (資料代)

講義＝居場所って何？始める上で大切なことは？続いて、市内 3 団体による居場所づくりの事例紹介、参加者同士の交流・情報交換を行います。

講師：長田英史氏

(NPO 法人れんげ舎 代表理事)

企画協力：地域のお茶の間研究所
「さろんどて」

◆NPO 講座

「日本の市民社会セクター問題を
世界の中で考えてみよう」

第 1 回：11/19(土) } 15:00～17:00
第 2 回：11/26(土) }

@ちがさき市民活動サポートセンター
参加費：2 回 500 円 (資料代)

*1 回のみ 300 円

市民活動の課題を公共哲学と民主主義論の視点から解き明かします。

講師：長坂寿久氏

(逗子フェアトレードタウンの会 代表理事)

◆ばりあふリーカフェ

11/29(火)18:00～20:00

@茅ヶ崎市役所本庁舎 1 階

市民ふれあいプラザ

参加費：500 円、学生 300 円
(飲み物・軽食付)

“街の中で普通に暮らす”

出会って しゃべって つながりたい
障がいがあってもなくても
日々思うことを話して
交流しましょう！



協力：障害福祉課

茅ヶ崎市福祉施設連絡会

※ 開催場所をご確認の上、ご参加ください ※

(café.COM)

ニューズレター50号記念！！

▶▶広報紙のふりかえり

市民が主役のまちづくりをコンセプトに、市民同士が支えあう、市民活動を応援する情報発信を続けてきました。ネットで情報が受発信できる時代ですが、紙媒体は、「読む」ことで記憶や印象に残りやすいように、写真を多用し、文字も多めに編集しています。何か始めたい人のきっかけづくり、活動をステップアップさせたい団体のスキルアップにも役立つ情報を満載！

年4回、各2000部発行。サポセンをはじめ市役所本庁舎1階市政情報コーナーや主な市内公共施設、市社協など約90か所で入手可能です。バックナンバーはホームページからもご覧いただけます。

■2002年8月30日発行 広報紙「ちがさきアイドゥ」発刊



できることは自分たちでやろう
「ちがさきアイドゥ（I do）！」

■2013年10月15日発行 Vol.38



読みやすく！
ページ数を増やして、内容充実

■2003年6月1日発行 「News Letter Chigasaki さぼせん」



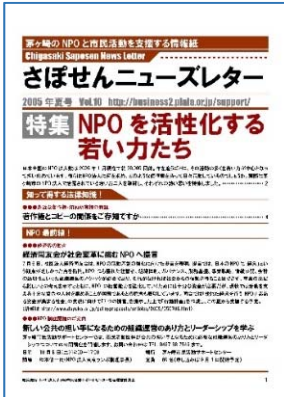
時代とともに変化する
ニーズに応じて情報発信

■2014年9月25日発行 Vol.42



新コーナー「さぼちゃんが行く！」が登場
スタッフが団体をインタビュー！活動の雰囲気
や団体の想い、将来像について、深掘り

■2005年8月1日発行 Vol.10



表紙のデザインを一新

■2015年9月30日発行 Vol.46



「OTHER NEWS」コーナー
最終頁にプチ情報を
まとめて掲載

＜茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営の変遷＞

2002年4月 茅ヶ崎市民活動サポートセンター開設

2002年4月～2005年3月

管理運営(業務委託・特命随意契約)：「茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会」
施設提供型支援（親切・丁寧、便利で使いやすい施設・設備の工夫・維持）

2003年6月 管理運営団体・法人化

2005年4月～2009年3月、2009年4月～2013年3月、2013年4月～2017年3月（4年毎に公募・選定）

管理運営(指定管理者制度)：「特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき」
情報収集・発信型支援（行政や企業等との連携の絆を深め協働に取り組むための相談機能の充実）

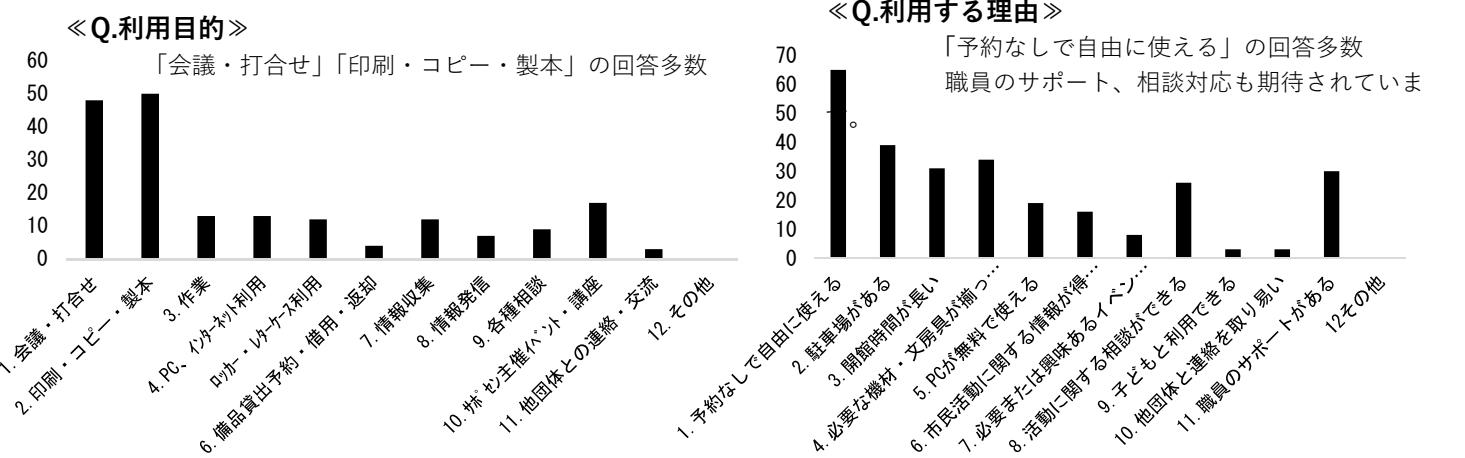
2016年10月 2017年4月～2020年3月 指定管理者の募集

利用者アンケート／利用者懇談会

▶▶利用者アンケート

「市民の思いや願い、知恵が集結するひろば」「情報収集・発信と協働の拠点施設」として、施設の管理に加え、様々な市民活動支援事業を行ってきました。今後さらに充実した支援を行うためにアンケートを実施し現状把握を行いました。

- ・実施対象：ガイドブック登録団体及び館内利用者（有効回答 86 件）
- ・実施期間：2016 年 6 月 1 日～6 月 30 日



＜Q.支援事業について＞（回答方法：満足している項目に複数回答可）

団体のニーズが多様な中で、ニューズレターやガイドブックへの満足度が他より高めの結果でした。
市民活動に関する情報収集に関しても、行政広報紙に次いで、サポートセンターからとの回答数が多くありました。

＜Q.自由記述欄より＞

- ・作業場所があることは本当に助かります。市民活動の第一歩はここからスタートしています。
- ・よるカフェなど茅ヶ崎の人と交流できるイベントなどをお願いしたい。
- ・HP 作成、スマホの使い方など教えてほしい。
- ・市民活動に関心を持ち、活動してみたいという人の掘り起こし、団体との結び付け、団体の育成に力を入れてほしい。
- ・いつも親切に対応してくださって、とても心強いです。
- ・こうしたアンケートをとって、サービスにつなげるという意識・考えは素晴らしい。

▶▶みんなでつくろう！サポセン利用者懇談会(ラベンダーカフェ)

2016 年 6/23(木)、25 日(土)、28 日(火)の 3 回で、のべ 20 名の方が参加。
アンケートと同時進行で開催したカフェでは、参加者から「生の声」を聴くことができました。

初めてサポセンにいらした方からは、「市民活動を支援している施設と言っても具体的なイメージは特になかった。」
「気持ちはあっても生活に余裕がなく地域や社会的な活動に目を向けることがなかった。」というお話がありました。
息子さんのご病気であったり、会社中心の生活から自宅中心の生活への変化であったり、きっかけは様々ですが、外に出て自分の気持ちを話してみることが社会参加への第一歩なのではないかと感じました。
また、活動している人たちからは、支援のあり方についてご意見をいただきました。
特に印象的だったのが「評価が活動のモチベーションにつながる」という事例の紹介。
長く続けている活動が自分たちの気づかないところで評価され、思わぬ形で地域の役に立っていることを知って、収束してしまうかと思った活動が続けられるようになったとのこと。第三者の立場から活動への感謝を伝えるしくみがあるとよいとのご提案でした。

サポセンスタッフ一同、信念に基づき熱心に活動している皆さまから、日々元気と感動をいただいています。
ありがとうございます！

今後に向けて

利用者アンケートと利用者懇談会へのご協力、ご参加ありがとうございました。いただいたご意見、提案を大事にし、これからも魅力ある事業、多くの方が交流できる場の提供、これから何かを始めたい方との新しい出会い、「みつかる・つながる・ひろがる場」を皆さまと共に創っていきたいと思います。



利用者の方より、サポセン花壇のラベンダーを練りこんだクッキーの差し入れがありました♥



「NPO 法人会計基準について」

NPO 法人は、会員や寄付者などからお金を託されています。NPO 法人にとっての会計の役割は、託されたお金が適切に管理され、使われたことを説明すること。あわせて、活動の実態を広く知ってもらうために自らが積極的な情報開示を進めることが大切です。「NPO 法人会計基準」は、全国で統一した基準がなかった課題を整理し、支援する人たちに活動を分かりやすく伝えるために、民間主導で策定され 2010 年 7 月に公表されました（2011 年 11 月一部改正）。基本的考え方は、①市民にとって分かりやすい会計報告であること、②社会の信頼にこたえる会計報告であること、となっています。

2012 年 4 月の「改正 NPO 法」により、NPO 法人が作成する財務諸表は旧法の「収支計算書」「貸借対照表」「財産目録」の 3 点セットから「活動計算書」「貸借対照表」「財産目録」の 3 点セットに改正されています。加えて「注記」と呼ばれる財務諸表の補足説明も非常に重要なので、報告に組み込むことが必要です。これらの書類は、毎事業年度終了後 3 月以内に所轄庁（神奈川県）に必ず提出するようにしましょう。

≪参考≫NPO 法人会計基準ホームページ みんなで使おう！NPO 法人会計基準 <http://www.npokaikeikijun.jp>

=サポセンでは、NPO の会計についてもご相談をお受けします。お気軽にご相談ください=

市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会

今年度は 18 の市民活動団体等と、のべ 23 の市の担当課が「協働推進事業実施の可能性」を中心に、協力し合うことができる接点やそれぞれの立場でできることについて話し合いました。協働することにより効率的に課題解決が期待できる事業の企画案は市民提案型協働推進事業として提出されます。公開プレゼンテーションは 12 月上旬予定。

日	テーマ	市民活動団体等	行政担当課
9/11	子どもたちへの、地域と行政との協働による学習支援	こども応援丸	教育政策課、学校教育指導課、青少年課
	健康生きがいづくりに関心を持ち地域で活躍できる人材を集める方策 1) 健康アドバイザー・フレイル予防サポーター・未病サポーターの養成 2) 行政との連携による健康をサポートする仕組みや仕掛けづくりの構築	神奈川健康生きがいづくり アドバイザー協議会 (湘南地区ネット)	企画経営課、高齢介護福祉課
	市民参加の景観まちづくりに向けた取り組み	NPO 法人アーバンデザイン センター・茅ヶ崎	市民自治推進課、 景観みどり課、社会教育課
9/12	茅ヶ崎市の文化遺産などを全天球画像で後世に残す	メディア茅ヶ崎	秘書広報課、社会教育課
	防災研修の動画配信	認定特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	市民自治推進課、 防災対策課、警防救命課
	茅ヶ崎市のインバウンドに対する関心と施策	YOKOSO! 湘南	産業振興課
	ハマミーナ（茅ヶ崎市南西部複合施設）の有効活用	特定非営利活動法人 まちづくりスポット茅ヶ崎	拠点整備課、文化生涯学習課、 保健福祉課、公園緑地課
9/15	・未来ビジョンの構想立案のプロセスや体制 ・市の本質的主要問題と未来課題	茅ヶ崎市の未来をデーターから 考える市民研究会	市民自治推進課、企画経営課
	周知活動について（市内でのイベント/ジュニアサッカー交流会等開催時）	特定非営利活動法人 ちがけせんプロジェクト	スポーツ健康課
	①防災活動における新たな場づくり、市民層づくりについて②防災リーダー フォローアップ研修&防災リーダーの活動状態について	ちがさき★みんなのてらごや	防災対策課、警防救命課
	市民による「みんなの認知症予防ゲーム」の普及促進活動	湘南傾聴の会	高齢介護福祉課
9/16	親子で学ぶ環境問題	認定特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	文化生涯学習課、環境政策課、 図書館
	相模川を利用しカヌー体験をしたり、イカダを作り冒険させる	エルマー	広域事業政策課、公園緑地課、 青少年課
	子育て支援、地域コミュニティについて	NPO 法人ワーコレたんぼひろば	市民自治推進課、子育て支援課
	社会教育、まちづくり、子ども育成、観光等	湘南まつなみ村健康プロジェクト	市民自治推進課、産業振興課
	①地方創生②戦略的まちづくり③わかもの世代の人口流出(長期ゲスト)→地域 ホストに④アクティブシニア層のとりこみ=空家対策・育児支援・生涯学習	ちがさき★みんなのてらごや	企画経営課
9/29	生後間もない赤ちゃんを育てている母親の支援	子育て支援グループ チーム・ミモザ	子育て支援課、こども育成相談課
9/30	茅ヶ崎市立病院小児科病棟にて“おもちゃひろば”の定期的開催について	どんぐりさんのおもちゃひろば	病院総務課

– 7 –

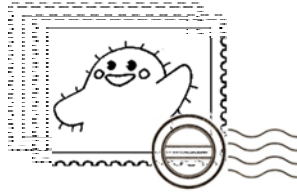
OTHER NEWS

ラベンダー・ゴーヤ募金を寄付 総額 ¥ 18,855-



今年も花壇に咲いたラベンダー、グリーンカーテンのゴーヤを皆さまへお分けしました。お預かりした募金は茅ヶ崎市の「市民活動げんき基金」へ寄付。ありがとうございました！

未使用切手の寄付 「さぼちゃんポスト」で受付中



寄付していただいた未使用切手を郵送費が必要な市民活動団体に寄贈し、団体の情報発信を支援する仕組みです。切手は1枚から受付中。寄贈を受けたい団体からの申請も受け付けています。

かながわシェイクアウト (一斉防災行動訓練)！



9/1 一斉防災行動訓練を利用者の皆さまと実施。いざという時の「身を守る1分」を体験しました。今後も定期的に訓練を行う予定。皆さまのご協力をお願いします。

かながわコミュニティカレッジ 「市民活動スタートアップ講座」



市民活動の現場を訪問し、講義やワークショップを通して活動の“はじめの一歩”を踏み出すきっかけを作る講座です

- ・開催日：11/30～1/18 (全6回)
 - ・場所：かながわ県民活動センター他
- 詳細は「かながわコミカレ」で検索

～自分らしく輝くために～ 「セカンドライフセミナー」開催！



- ・対象：全3回参加可能なシニアの方
 - ・日程：第5回 11/13・19・26、
第6回 (2017年) 2/14・17・21
 - ・場所：茅ヶ崎市シルバー人材センター
 - ・参加料：3,000円
- 詳細は「茅ヶ崎市 セカンドライフセミナー」で検索

「熊本・大分地震オンデマンド支援隊」 集荷場所として協力



4/14 熊本・大分県で地震が発生してから8月末まで、“今”求められている支援物資の集荷場所として協力。たくさんの方からお預かりした物資は、現地で活動する団体を通して被災された方へ届けられました。ご協力、ありがとうございました。

ABOUT US

▶ちがさき市民活動サポートセンターとは

市民活動団体や NPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちがこれから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。



▶開館時間 9:30～21:30

▶休館日 毎月第3水曜日、年末年始 (12/28～1/3)

▶アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度 駐車場14台 障がい者用駐車場1台 駐輪場あり

▶連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX: 0467-88-7546 Eメール: s-center@pluto.plala.or.jp ホームページ: http://sapocen.net/

▶指定管理者 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき (2016年9月21日付で神奈川県より認定を受けました) (指定管理期間: 2013年4月1日～2017年3月31日)

